

# ボールの特性レポート

## BALL REPORT



|      |           |     |       |                       |           |
|------|-----------|-----|-------|-----------------------|-----------|
| ボール名 | フラックス・パール | 投球者 | 徳江 和則 | センター                  | 平和島スターボウル |
| RG   | 2.550     | △RG | 0.048 | ●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール |           |

**テストボール：フラックス・パール**

フレアーの幅  インチ

PAPからピンとの距離 **4-1/2** インチ

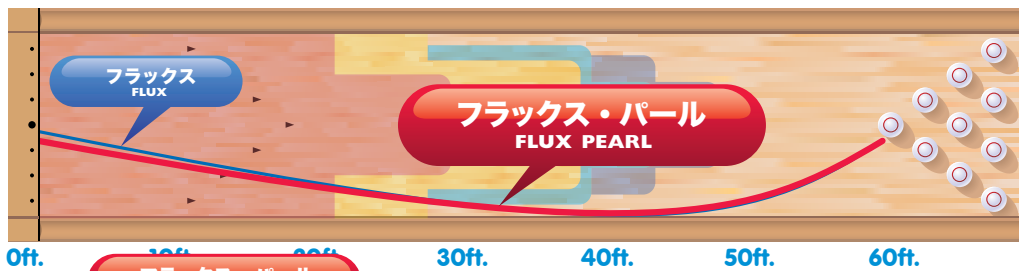
表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤

**比較対照ボール：フラックス**

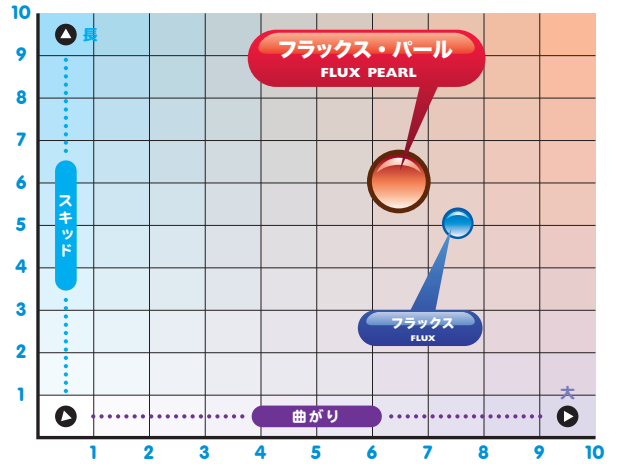
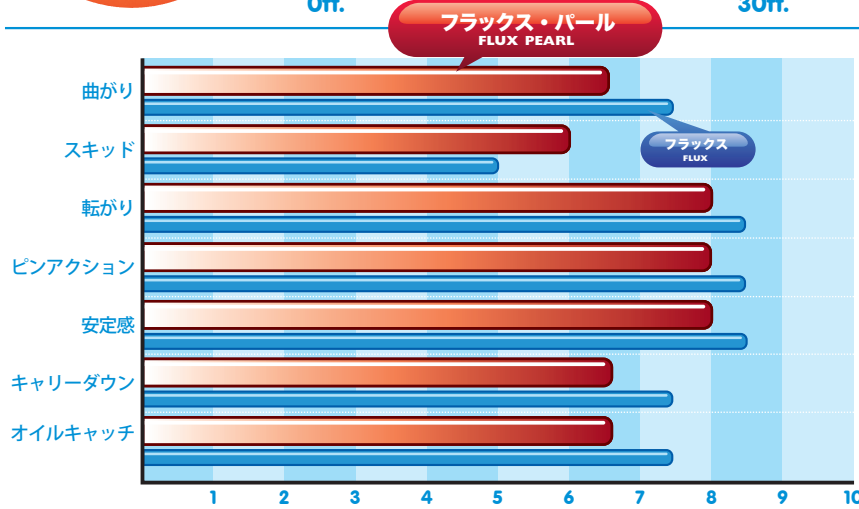
フレアーの幅  インチ

PAPからピンとの距離 **4-1/2** インチ

表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



レーンコンディション: Light Oil, Light to Medium, Medium Oil, Medium to Heavy, Heavy Oil

バックエンドリアクション: Smooth, Smooth to Arc, Arc, Arc to Sharp, Sharp Angle

レンジス: Early Roll, Early to Med, Med-Lane, Med to Late, Late Roll

### ボールの評価

前作FLUXは同じS72カバーでもSolid素材を使い、S72以上の強さを感じさせるオイルキャッチと形状を見直されたAmpilifyコアで、アグレッシブさを出ることが出来た900Global社の中でも攻撃的な分類のボールでした。今回のFLUX PEARLはS72の領域はそのままPearl素材を使い、さらにアグレッシブさを全面に出してきたと言っても良いほど、”超攻撃的””劇的な暴れ”がコンセプトと言えるぐらいのボールに仕上がっています。

投げただけであればどのぐらい暴れるのか体感できませんが、オイルの濃淡を極端に感じられる傾向が強く出ています。オイルの上は走りすぎてしまう傾向はありますが、しかしドライゾーンでの反応が物凄く良いので、ドライゾーンで向きを一気に変えるところは”暴れん坊”と言っても良いほど劇的な動きを魅せます。対応コンディションはミディアムより濃いと不安定が増します。ただし先で戻るイメージのコンディションならばかなり鋭角さを持って戻すことができる特性も併せ持っています。戻せるコンディションで使うと幅も取れるし入射角の鋭さを感じられて、出し戻しのラインを攻める楽しさがあります。見方を変えれば、オイルに多少弱い部分が見られるからこそ、走りが欲しい方や先でボールの動きが止まってしまう方には待ち望んでいた性能ではないかと思えます。

ボールの性能が進み、それに伴って性能のみならずコンディションの変化まで多様化した時代、コンディション攻略にさらなる対応とそれに伴う用具の用意まで必要になってきています。同じ領域のボールを多く持つのではなく、攻略を含めたボールチョイスを含めるとこのようなボールを持つことで新たなラインが引ける可能性も高くなります。手前のオイルが薄くなった時、その先までボールが出ていけばラインが取れるのに!という方はこのボール神になります!

### 特記事項

**最大の特徴は暴れるぐらいのバックエンドモーション。遅くなった時、先で戻せるボールを探している方はこのボールは驚きます!**